

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 27 年 6 月 5 日現在

機関番号：17301

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2012～2014

課題番号：24531145

研究課題名(和文)自然音と音楽、演奏による特別支援学級のための鑑賞教材ソフトの開発

研究課題名(英文)Development a software of teaching materials for special support classroom, by natural sound, music and performance.

研究代表者

宮下 茂(MIYASHITA, Shigeru)

長崎大学・教育学部・教授

研究者番号：30325683

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,100,000円

研究成果の概要(和文)：自然音とその映像、音楽を用い、特別支援学級の生徒・児童が興味や関心を持ち、集中して想像力を発揮し、楽曲の理解を行い、芸術活動を通じ、豊かな心を創造し、音楽が糧となりうる音楽鑑賞教材と指導資料集を作成する研究である。使用効果を上げるため、身近な自然音「風の音」「水の流れる音(川の流れる音、波の寄せる音)」「雨音」等を教材に取り入れた。それら自然音を聞き、映像を見、何の音がを問い掛け、その音に対応する楽曲を聴取する内容とし、自然音並びに映像(風景)による鑑賞教材を作成した。作成では、家庭用機材・編集ソフト等を活用し作成の手順を資料に含めた。それにより、各学校の教員の手により研究継続を可能とした。

研究成果の概要(英文)：Using a natural sound,picture and music,a student and a child of the special support class feel interest,concentrated and an imagination is shown, Understanding of music,through art activities,Creation at the abundant heart, Music can be worth living,The study which makes listening to music teaching materials and a guidance sourcebook.To raise the effect of use, Close natural sound"the tone of the wind" "the sound into which water runs""rainy sound"etc.,It was introduced to a course.That,a natural sound,hearing,Please see a picture,It's asked what sound it is,The contents from which music which corresponds to its tone is heard, Enjoyment teaching materials by a natural sound and a picture (the landscape)were made.By making, Machinery and materials for domestic use and edit software, etc. were utilized.A procedure of making was included in material.And lay,In teacher's hand at each school,We assumed that study continuation was possible.

研究分野：音楽教育(声楽)

キーワード：音楽 鑑賞教材 映像 自然音 特別支援学級

1. 研究開始当初の背景

(1) 本研究申請以前、本研究者は、特別支援学校で音楽演奏を行う機会を持った。その演奏会をきっかけに、特別支援学級での音楽鑑賞教育に対する関心が高まり、鑑賞授業についての研究を開始した。指導の目標、教材選択、指導方法に関する研究などを行った。特に自然音を伴う楽曲の影響・鑑賞効果への関心が芽生え、映像教材による視覚的な影響・鑑賞効果への関心も持ち、音楽と映像を伴った、音楽鑑賞教材作成への関心が高まった。

(2) その後、特別支援学校及び盲学校において、音楽授業及び生徒・児童の実態調査研究を行った。約1年間をかけ、長崎県内の特別支援学級及び盲学校を訪問し、音楽授業を観察した。また、関連する内容の文献による研究も行った。

(3) 音楽授業の観察では、生徒及び児童に見られる、更に伸ばすことができると推察される、様々な能力を発見した。それらは、「観察力と模倣の能力」、「音楽と映像の刺激を、知識と想像に結びつける能力」、「音に対する素早い反応、音を聞く能力」、「言葉から導く想像力」、「自分の好みや良いものを選択する能力」、「仲間と知識や意識を共有できる能力」、「お互いを客観視できる能力」、「お互いを称賛できる能力」など、多岐にわたる能力の可能性であった。

(4) その他にも、音楽授業の観察では、指導実践上の留意点も発見した。それらは、「興味や関心を持てる題材及び教材の必要性」、「単純で明快な道筋の立った指導内容の必要性」、「主たる教員と補助員が、生徒及び児童が能力を発揮した瞬間を見逃さない、ゆとりの持てる指導教材の必要性」、「生徒及び児童が集中できる指導の間合い」などであった。

(5) その後、長崎県内の特別支援学校及び盲学校に於いて、実演による音楽鑑賞授業の施行研究を行った。音楽鑑賞授業中、生徒及び児童との自然環境音をテーマとした対話を行ったほか、自然描写を伴う歌曲の実演奏(鑑賞)を行い、鑑賞後の生徒及び児童の反応を観察した。

(6) 音楽鑑賞授業の施行研究の観察によって、生徒及び児童の表情から、聴くことへの集中と音への関心が読み取れた。中でも、自然描写(鑑賞曲)の演奏音が聴き取れた瞬間に、聴くことへの集中から解放され、喜びの表情を浮かべる様子が見られた。そこから、自然音を伴う楽曲の与える影響・教育的効果の可能性が感じられた。また、「聞こえた」などの感嘆の声を、思わずあげる様子も見られた。他にも、音楽鑑賞授業中の生徒及び児童との対話の中で、与えられた情報以上の感

想を答える生徒及び児童がいた。

(7) これらの研究への取り組みから、日常生活の中にある自然環境音と、自然描写を伴う音楽とを結びつけて鑑賞を行うことで、鑑賞内容の理解や音への関心が高められ、教育的効果が高まり、音楽鑑賞授業の内容が深まると考えられた。

(8) また、風景(映像)による視覚的な刺激と、映像に関連した自然描写を伴う音楽との結びつきが、鑑賞曲の内容や、音の表すイメージの理解に大きな影響を与えると考えられた。

(9) そして、日常生活の中にある自然環境音と風景(映像)との結びつきによる、音楽鑑賞教材の教育的効果、風景(映像)と自然描写を伴う音楽(鑑賞曲)とを結びつけた、音楽鑑賞教材の教育的効果を計るためには、音楽鑑賞教材開発・音楽鑑賞教材作成が必須と考えられた。

(10) 音楽鑑賞教材作成にあたり、音楽鑑賞教材の教育的効果を高めるためには、生徒及び児童の住んでいる地域に密着した、身近な風景(映像)が最適と考えられた。そのような音楽鑑賞教材作成のためには、各学校の教員の手による音楽鑑賞教材作成が必要と考えられた。そのため、特別支援学校及び盲学校の各音楽授業担当教員にも作成が可能となるよう、音楽鑑賞教材作成時の手順の公開も、本研究には必須と考えられた。

2. 研究の目的

本研究の目的は、日常生活の中にある自然環境音と風景を、自然描写を伴う音楽に結び付け、音楽鑑賞教育に活用できる資料として教材化し、特別支援学校において、知的障害の度合いや情緒の安定の違いを越え、共通する様々な能力を伸ばし、社会環境との共和を持ち、生きる力を身に付けさせる指導実践のための指導資料集を作成することである。なお、この研究によって地域の自然環境にも興味と関心を持つための、社会生活教育にも役立てたいと考える。

3. 研究の方法

(1) 本研究は、自然音とその映像、音楽を用い、特別支援学校の生徒及び児童が興味や関心を持ち、集中して想像力を発揮し、楽曲の理解を行い、芸術活動を通じ、豊かな心を想像し、音楽が生活の糧となりうる音楽鑑賞教材と指導資料集を作成する研究である。音楽鑑賞教材としての使用効果を高めるためには、生徒及び児童にとって、身近な自然音、「風の音」、「水の流れる音(川の流れる音、波の寄せる音)」、「雨音」のほか、音楽的な音のイメージを持ちやすい、「鳥のさえずり」、「馬のひづめの音」などを、教材に取り入れ

るのが有効と考える。

(2) 音楽鑑賞授業の流れとして、それら自然の中で聞こえる音を聞き、その音に関連した映像を見て、それが何の音かを問いかけ、その音に対応する楽曲の聴取を行う。音楽鑑賞教材での使用楽曲は、ドイツ歌曲「菩提樹」や「時計」、「オールフ氏」、「詩人のトム」などバラード歌曲のように、歌詞を伴い、言葉からも自然描写を想像できるものが有効と考える。

(3) 前述の内容から、全国の特別支援学級で設定が可能な自然音に絞り込み、各学校の周辺でも発見できる自然音並び映像(風景)による鑑賞教材を作成する。

(4) その作成手順を鑑賞教材資料に含めることにより、本研究終了後も各学校の教員の手により、本件研究内容が継続されると考え、研究を行なう。

(5) 音楽鑑賞教材DVD作成の流れは以下の通りである。

第1段階(平成24年度実施)

企画・構成・シナリオ作成
選曲・構成・シナリオ立案
撮影機材準備
撮影テスト
ロケーションハンティング
録音・撮影・イラスト制作準備
演奏・ナレーション準備
録音機材・編集用機材準備

第2段階(平成25年度実施)

演奏録音・録画
ナレーション録音・録画
映像録画
イラスト作成

第3段階(平成26年度実施)

映像編集作業
音響編集作業
イラスト挿入作業
文字・サウンドエフェクト・ミュージックエフェクト挿入作業
DVDディスク・リレット作成
音楽鑑賞教材DVDの完成

4. 研究成果

(1) 本研究では、音楽鑑賞教材DVDを作成した。音楽鑑賞教材DVDの構成は、以下の内容とした。

トラック1: 解説【はじめに】(ナレーション)

トラック2: 解説【導入～音楽と気持ち(気分)】(ナレーション・風景)

トラック3: 解説【作曲家紹介 ショパンの「雨の音」】(ナレーション・演奏・風景)

トラック4: 鑑賞曲【24の前奏曲 作品28第15番 変二長調「雨だれ」(ショパン)】(演奏・風景)

トラック5: 解説【作曲家紹介 レーヴェの「お話の音」】(ナレーション・演奏・風景)

トラック6: 解説【鑑賞曲紹介「詩人のトム」(レーヴェ)】(ナレーション・演奏・風景)

トラック7: 鑑賞曲【「詩人のトム」(レーヴェ)】(演奏・風景・イラスト・ナレーション)

トラック8: 解説【鑑賞曲紹介「水の妖精ネック」(レーヴェ)】(ナレーション・演奏・風景)

トラック9: 鑑賞曲【「水の妖精ネック」(レーヴェ)】(演奏・風景・イラスト・ナレーション)

トラック10: 解説【作曲家紹介 シューベルトの「風の音」】(ナレーション・演奏・風景・イラスト)

トラック11: 鑑賞曲【「菩提樹」(シューベルト)】(演奏・風景・イラスト・ナレーション)

(2) 研究の目的は、日常生活の中にある自然環境音と風景を、自然描写を伴う音楽に結び付け、特別支援学校の音楽鑑賞授業に活用できる教材用DVDの作成であり、その目的は概ね達成できた。

(3) また、全国の特別支援学級で設定が可能な自然音に絞り込み、各学校の周辺でも発見できる自然音並び映像(風景)による鑑賞教材を作成し、その作成手順も鑑賞教材資料に含めることも行った。この点では、音響・映像の専門家でなくとも、教師自身が鑑賞教材への興味・関心を持つことにより、一般的な家庭用機材・編集ソフト等を活用し、作成できることが明らかとなった。

(4) ロケーションの選択では、長崎大学附属特別支援学校を例として選定した。学校の所在地を始点とし、長崎市中園町周辺の無名のどぶ川、長崎大学文教キャンパス、浦上川を経て、大浦海岸周辺や長与町中尾城公園へと足を伸ばした。

(5) 「導入」の解説部分では、「どこまでも続かない線路(路面電車)」、「砂浜のない海(湾岸の海)」など、音楽から想像された勘違い映像から撮影を始めた。その意図するところは、この音楽鑑賞教材DVDでは正しい想像を教えることが指導の目的ではなく、鑑賞曲から聞こえる音の様子を想像することの自由と楽しさを紹介したいがためであった。

(6) 楽曲の選択では、歌詞の伴う歌、本研究の専門とするドイツ歌曲を多く選曲し、ドイツ語歌詞による歌唱を行った。しかし、歌詞の内容も想像のきっかけになると考え、

訳詩の朗読を加えた。この朗読に関しては、編集段階で挿入できる簡易な方法例として、誰もが容易に合成可能な、音声作成ソフトを使用し、コンピュータ音声による朗読作成・挿入方法を取った。

(7)「解説」の部分では、音楽鑑賞教材DVDが、一般的な教養番組のような、映像と朗読、あるいは字幕スーパーによる教材とするよりも、人のぬくもりを感じられる教材にすることが、児童・生徒の集中をより高めると考え、ナレーターの朗読を、映り込みの映像とした。また、朗読を読む印象ではなく、朗読を語る印象とさせさせるために、あらかじめ、画コンテで細かくカット割りを行い、収録・撮影をした。これには、カット割りを細かくすることによって、一般人のナレーター役であってもスムーズに語れるよう、台詞に対する負担を軽減するねらいもあった。

(8)今後の課題としては、本研究で作成した音楽鑑賞教材用DVDを使用した、音楽授業での実践研究を行い、その使用効果をはかり、特別支援学校における音楽鑑賞授業の更なる可能性を探ることである。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計0件)

〔学会発表〕(計1件)

宮下茂、「自然音と音楽、演奏による特別支援学級のための音楽鑑賞教材ソフトの開発」、全九州大学音楽学会、平成26年12月12日、KKRホテル博多「スバル」(福岡県福岡市)

〔図書〕(計0件)

〔産業財産権〕

出願状況(計0件)

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

出願年月日：

国内外の別：

取得状況(計0件)

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

出願年月日：

取得年月日：

国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1)研究代表者

宮下 茂 (MIYASHITA, Shigeru)

長崎大学・教育学部・教授

研究者番号：30325683

(2)研究分担者

三上 次郎 (MIKAMI, Jiro)

長崎大学・教育学部・教授

研究者番号：90190602